

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡  
 ( J A S D A Q ・ コード 5 2 1 6 )  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 取 締 役 経 理 部 長 関 根 紀 幸  
 電 話 0228 32 5111

## 業績予想（連結・単独）の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 12 日の当期第 1 四半期業績の概況発表時に公表した平成 17 年 12 月期中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 17 年 12 月期中間単独業績予想の修正（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

〔単独〕

（単位：百万円）

	売 上 高	加工売上高	経 常 利 益	中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 12 日公表)	10,000	4,500	1,300	1,600
今 回 予 想 (B)	10,933	4,783	1,118	1,489
増 減 額 (B - A)	933	283	182	111
増 減 率	9.3%	6.3%	-	-
(ご参考) 前中間期実績(平成 16 年 6 月中間期)	14,303	7,650	516	106

「加工売上高」は、売上高から材料費を除いたもので利益との相関が高いため、継続して開示しております。

#### 2. 平成 17 年 12 月期中間連結業績予想の修正（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 12 日公表)	14,300	950	1,420
今 回 予 想 (B)	15,057	648	1,291
増 減 額 (B - A)	757	302	129
増 減 率	5.3%	-	-
(ご参考) 前中間期実績(平成 16 年 6 月中間期)	17,514	660	230

#### 3. 中間業績予想修正の理由

単独

弊社第 2 四半期（4～6 月）においては、液晶パネル市況の緩やかな回復に伴い液晶ガラス基板加工の受注が増加いたしました。収益面においては加工売上高の増加ならびにコスト削減の効果から前回予想より改善する見込みであります。

#### 連結

単独の業績改善に加え、連結子会社の㈱FILWEL が本年 3 月にカネボウ㈱よりベルエース事業を譲り受けた際、低廉な価額で譲り受けた「たな卸資産」の販売益が収益に寄与いたしました。対象となった「たな卸資産」は譲り受け時点の在庫品が対象であり、一過性の増益要因であります。

この結果、連結業績は前回予想より改善する見込みであります。

#### 4. 通期業績予想について

通期業績予想（単独・連結）につきましては、変更はございません。

#### （ご参考）

##### 下期業績予想の背景

##### 単独

下期以降の液晶パネル業界は、年末商戦もあり市況の回復傾向は続くものの、海外メーカーの増産に伴う供給過剰懸念も予想され、予断を許さない状況となっております。弊社では、第 2 四半期（4～6 月）の売上高増加・赤字幅縮小などの業績改善傾向が下期にも継続されると予想するものの、液晶業界においては需給バランスの崩れや、素材メーカーによる内製化の動きなど不確定要素も多いことから、通期の売上高予想に変更はございません。収益面においても、上期に収益改善がみられたものの、下期に製品構成の悪化や原油高による諸コスト増加などの要因が見込まれることを勘案し、通期の収益予想に変更はございません。

##### 連結

連結子会社は下期においても堅調な業績を維持する見込みであり、通期連結の売上高の予想に変更はございません。

収益面でも、連結子会社において将来を見据えた研究開発等の先行投資を積極化する予定であり、通期連結の収益予想に変更はございません。

#### [ 業績等の予想に関する注意事項 ]

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化により、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

以 上